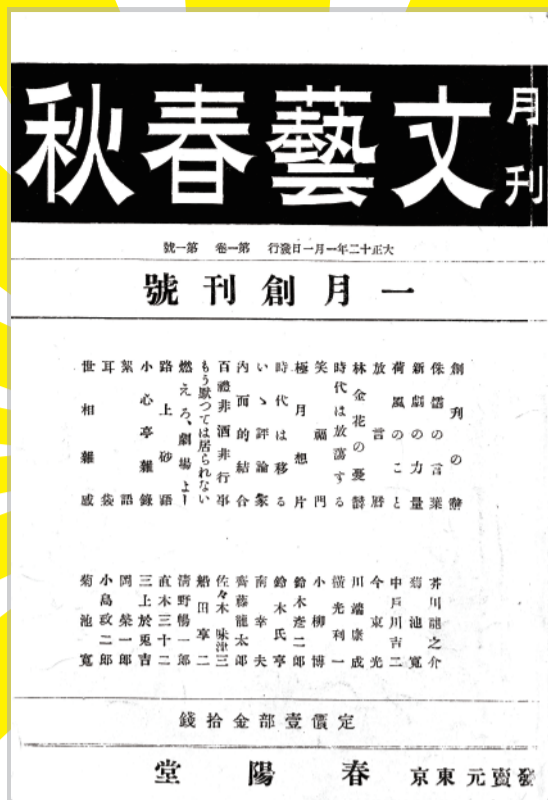




第 4 号

ざっし かくしん
雑誌を革新!



ぶんげいしゅんじゅう
文藝春秋!!

あの人気作家・菊池寛が、『文藝春秋』という雑誌を創刊した。安い値段に、豪華な作家たち、個性的なレイアウトに、おもしろい記事や、変わった企画……。他の雑誌にはない魅力に、読者が急増しているという。

* * *

『文藝春秋』が初めて世に出たのは、大正 12 年 1 月。「私は頼まれて物を言うことに飽きた。自分で考えていることを、読者や編集者に気兼ねなしに、自由な心持で言ってみよう」という気持ちから、自分の雑誌を作ったそう。

「もとより、気まぐれに出した雑誌だから、何らの定見もない。原稿が集まらなくなったら、来月にもやめるかもしれない」と、菊池寛は言っていたが、雑誌は大人気。あつという間に売り切れた。

『文藝春秋』に作品を書いた作家には、友人で人気作家の芥川龍之介や直木三十五、菊池寛をしたう若い作家、川端康成や横光利一などがいて、菊池寛のはば広い交友関係が活かされている。すばらしい作家たちが集まる『文藝春秋』に、今後も目がはなせない。



さまざまなアイデアを出し、編集の才能を発揮する菊池寛。『文藝春秋』は、95 年も続く御長寿雑誌だ (2018 年現在)。

「きくちかん新聞」は 2 ヶ月ごとに発行し、菊池寛の一生をお伝えします。Web でも見ることができます。

編集・発行：菊池寛記念館 (香川県高松市昭和町一丁目 2-20、087-861-4502)、イラスト提供：池内舞
菊池寛記念館 HP : <https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/kosodate/bunka/kikuchikan/index.html>

